

衛生委員会議事録

2021年3月22日 午後3時30分より、東京都千代田区丸の内1-1-1パレスビル内三菱ケミカル株式会社会議室において、エムシーパートナーズ株式会社の衛生委員会を開催した。(会議室内は事務局1名のみであり、各委員はオンラインにて出席)

出席者	委員長（衛生管理者）	鈴木 俊彦
	委員（産業医）	古澤 真美
	同（会社推薦兼事務局）	村上 浩治
	同（会社推薦）	松田 明子
	同（従業員代表）	櫻井 文代
	同（従業員代表推薦）	高梨 雅恵
	同（同）	徳野 幸枝（欠席）

委員長は、以上のとおり出席があったので、衛生委員会を開会する旨を宣し議事に入った。

1. 議長は「労働災害状況」及び「交通災害状況」について、前月はいずれもゼロ災であった旨を報告した。
2. 次に議長は、従業員の前月の労働時間について、別紙「3. 時間外労働状況」に基づき前年同月との対比等説明した。

今月の最高値の方は約 80 時間の時間外労働となった。昨年度も同様のケースがあり、期末が近づき過重労働とならないよう注意喚起が必要である。平均値は昨年度より低い傾向が続き昨年と大きく乖離することはなかったが、今回は0.9時間増となった、と述べた。
3. 次に議長は古澤委員（産業医）から健康に関し講話をいただく旨述べ、古澤委員は厚労省「新型コロナワクチンについて知ってほしいこと」について説明をした。また、3月1日～8日が女性の健康週間であることから、女性の健康推進室 ヘルスケアラボ について説明をした。

委員長は、他に意見がないことを確認し、午後3時50分本会を閉会する旨を宣した。

3. 時間外労働状況

摘 要		当月	前年同月	差異	単位
対象者（パート除く）		65	60	+ 5	人
平均所定労働日数		18.2	18.0	+ 0.2	日
平均休日労働日数		0.1	0.0	+ 0.1	日
平均所定労働時間（年休除く）		130.3	131.2	- 0.9	時間
残業時間	平均	9.9	9.6	+ 0.3	時間
	最高	60.8	87.8	- 27.1	時間
休日労働時間	平均	1.1	0.4	+ 0.7	時間
	最高	54.0	9.3	+ 44.7	時間
残業＋休日労働	平均	10.9	10.0	+ 0.9	時間
	最高	80.3	87.8	- 7.6	時間
	80時間超	1	1.0	+ 0	人

※残業及び休日労働はいずれも所定労働時間に対する値

古澤先生 健康講話

1. 新型コロナワクチンについて
添付資料をもとにお話しいたします。
2. 女性の健康週間のお知らせ
3/1～3/8が女性の健康週間にあたります。
以下、有用サイトの情報提供です。

★女性の健康推進室 ヘルスケアラボ
<http://w-health.jp/>

2021年度 衛生委員会体制について

弊社内の体制変更により、会社側委員を以下のとおり変更いたします。

(現 行)

委員長： 鈴木 俊彦
委員： 古澤産業医
委員： 村上 浩治
委員： 松田 明子

(変更後)

委員長： 村上 浩治
委員： 古澤産業医
委員： 松村美奈子
委員： 松田 明子

2021年度 衛生委員会 開催日程について

開催日程については、今年度と同様、
原則 第4月曜日 15時30分～ といたします。

2021年度 衛生委員会予定

4月26日 (月)	10月25日 (月)	
5月24日 (月)	11月22日 (月)	※
6月28日 (月)	12月27日 (月)	
7月26日 (月)	1月24日 (月)	
8月23日 (月)	2月28日 (月)	
9月27日 (月)	3月28日 (月)	

※ 11月は日曜日と祝日の間。29日に変更？



新型コロナワクチンについて 皆さまに知ってほしいこと

～ワクチンに関する情報を、正確に、わかりやすくお伝えします～



新型コロナワクチンは、発症を防ぐ効果が認められています。

今回新たに承認された新型コロナワクチンは2回の接種によって、95%の有効性で、発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を防ぐ効果が認められています。(※インフルエンザワクチンの有効性は約40～60%)



新型コロナワクチンは、あなたご自身のためだけでなく、医療機関の負担を減らすための重要な手段にもなります。

新型コロナウイルスは、まだまだ未知のことがあります。このウイルスの感染により、令和3年1月末までに6千人以上の方が亡くなり、3万人以上の方が入院されています。特效薬も開発中の段階です。

こうした中で、多くの方に接種を受けていただくことにより、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことが期待されます。



どんなワクチンでも、副反応が起こる可能性があります。

一般的にワクチン接種後には、ワクチンが免疫をつけるための反応を起こすため、接種部位の痛み、発熱、頭痛などの「副反応」が生じる可能性があります。治療を要したり、障害が残るほどの副反応は、極めて稀ではあるものの、ゼロではありません。(予防接種による健康被害は救済制度の対象です。)

今回新たに承認されたワクチンの国内治験では、ワクチンを2回接種後に、接種部位の痛みは約80%に、37.5度以上の発熱が約33%、疲労・倦怠感が約60%の方に認められています。

ワクチンに含まれる成分に対する急性のアレルギー反応であるアナフィラキシーの発生頻度は、市販後米国で100万人に5人程度と報告されています。日本での接種では、ワクチン接種後15～30分経過を見て、万が一アナフィラキシーが起きても医療従事者が必要な対応を行います。

新型コロナウイルスワクチンについて皆さまに知ってほしいこと

～ワクチンに関する情報を、正確に、わかりやすくお伝えします～



新型コロナウイルスワクチンの承認後も、継続的に安全性を確認します。

アナフィラキシーや医師が予防接種との関連を疑う重篤な症状が発生した場合は、法に基づき報告を受け、専門家が評価します。こうした報告の中には、ワクチン接種後の持病悪化・死亡のように、ワクチンとの因果関係が直ちに評価できない事例も含まれますが、幅広く収集し、評価を行うこととしています。

加えて、1～2万人の先行接種者を含め、延べ約300万人の方々について、ワクチン接種後の症状等の調査を予定しています。

このように、ワクチンの安全性を継続して確認し、安全性に関する情報を提供していきます。



新型コロナウイルスワクチンの接種には、優先順位があります。

全国民に提供できるワクチンの数量を確保することを目指しています。しかしながら、ワクチンの調達が段階的にならざるを得ないことから、まず、重症化リスクの高い方から順に接種することで、重症者や死亡者を減らすことを優先します。また、新型コロナウイルス感染症患者に対する医療提供体制を守ることも不可欠です。

このため、①新型コロナウイルス感染症患者等に直接医療を提供する医療従事者等、②65歳以上の高齢者、③基礎疾患を有する方や高齢者施設等において利用者に直接接する職員、の順で接種をしていく方針です。その後、16歳以上の一般の方に、順次接種が行われます。



新型コロナウイルスワクチンは、誰もが全額公費(無料)で受けることができるようにします。

外国人も含め、接種の対象となるすべての住民に全額公費で接種を行う見込みです。接種の時期が近づいたら、市町村から、接種のお知らせや接種券をお送りする予定です。



ワクチンについて、正しく知ったうえで、判断しましょう。

新型コロナウイルスワクチンを承認し、接種をお勧めするにあたって、国内外の数万人のデータから、発症予防効果などワクチン接種のメリットが、副反応といったデメリットより大きいことを確認しています。国民の皆さまが納得して判断をしていただけるよう、国としても情報提供に努めてまいります。

